



HONDA FOUNDATION

公益財団法人 本田財団 104-0028 東京都中央区八重洲2-6-20  
Tel 03-3274-5125 Fax 03-3274-5103 <http://www.hondafoundation.jp>

2015年9月7日

## アジアの若き研究者たちが環境汚染問題について討論する Honda Y-E-S Forum 2015 を開催

公益財団法人本田財団(設立者:本田宗一郎・弁二郎兄弟、理事長:石田寛人)は、Y-E-S 奨励賞 (Young Engineer and Scientist's Award) のアジア各国の受賞者たちが、様々な知見を持った人々とともに、現代社会が抱える諸問題について若き科学技術者の視点で解決策を討論するフォーラム「Honda Y-E-S Forum 2015」を、2015年11月18日(水)に東京都文京区の東京大学弥生講堂一条ホールで開催します。

Y-E-S 奨励賞は、2006年に当財団創設30周年を迎えることを機に始まった、アジアの理工系学生を対象とした助成事業で、科学技術分野における将来のリーダー育成を目指しています。現在の対象国はベトナム、インド、カンボジア、ラオス、ミャンマーの5カ国で、それぞれの国の理工系大学の中で優秀な成績を収めた学部生に奨励金を授与するなどの顕彰を行っています。

Honda Y-E-S Forum は、Y-E-S 奨励賞のプログラムをさらに推し進める形で、Y-E-S 奨励賞受賞者同士および日本の学生との交流による切磋琢磨、日本の学識経験者・研究者との接点、プログラム実施各国へのフィードバック・波及を通じて、科学技術発展の将来を担う、アジアの若手理工系科学者・エンジニアの育成(能力開発と人的ネットワークの拡大)への貢献を趣旨として開催されます。アジア各国のY-E-S 奨励賞受賞者の代表者が集まり、有識者と討論するのは当財団として初の試みとなります。また、フォーラムは一般に公開されます。

今回のフォーラムのテーマは「エコテクノロジーで環境汚染問題に取り組む」です。当日は、Y-E-S 奨励賞受賞者の代表者が自国の環境汚染問題に関するプレゼンテーションを行うほか、基調講演では大阪大学名誉教授 藤田正憲博士、東京大学名誉教授 安岡善文博士が登壇。会の後半ではアジア各国が抱える環境汚染問題の解決策について、政策研究大学院大学教授 角南 篤博士(公益財団法人 本田財団 業務執行理事)をファシリテーターとして、会場の参加者も交えたパネルディスカッションを行います。

あわせて、本フォーラム開催にあたり、環境問題をテーマとした研究ポスターコンテストを実施します。環境汚染対策に関する日本の研究成果や知見を共有するとともに、課題に取り組む一人ひとりの人的ネットワークの拡大も狙います。

これらのプログラムを通じて、新興国における環境汚染の課題に対し、科学技術の果たすべき役割を若き科学技術者の視点で考察します。また、日本における研究・技術・アイデアの貢献方法や国境を越えた協力関係を含め、問題解決に向けた道筋を探ります。

なお、今回の Y-E-S Forum は、国立研究開発法人 科学技術振興機構 (JST)、アジア都市環境保健学際コンソーシアム (UEHAS)、STeLA (Science and Technology Leadership Association) Japan (ステラ ジャパン) の後援を得て開催されます。

本田財団は、本田技研工業の創業者 本田宗一郎と、実弟の弁二郎が私財を投じ、1977(昭和52)年に設立しました。現代社会は、急速な技術革新により、高度の経済成長と飛躍的な繁栄を達成しま

したが、その一方で、環境破壊や公害問題、都市の過密化、人口食糧問題、人種民族間のギャップの拡大などの深刻かつ複雑な問題を派生させることになりました。

当財団では、現代文明の現状及び将来の在り方について自由に討議し研究する場として、国際交流やシンポジウムなどの開催、研究・教育・普及などの活動に対する褒賞および助成、現代文明の成果を活用する調査研究などの事業活動を活発に展開し、もって人間性あふれる文明の創造に寄与することを目的としています。

お問い合わせ先: 公益財団法人 本田財団

〒104-0028 東京都中央区八重洲2-6-20 ホンダ八重洲ビル

TEL: 03-3274-5125 FAX: 03-3274-5103

<http://www.hondafoundation.jp>